



夢を育む よかわっ子

HP アドレス <http://www.miki.ed.jp/el/yokawa/>

令和7年度 学校通信 No.10

三木市立吉川小学校

令和7年11月28日(金)

よかわっ子スマイル参観を終えて

11月20日(木)にオープンスクールとして、教科の授業参観とよかわっ子スマイル参観(親子人権学習)を行いました。1年生は学年閉鎖のため、1週間遅らせて27日(木)に実施しました。

多くの保護者に参加いただきありがとうございました。アンケートに回答いただいた保護者の皆様の感想の一部をご紹介します。



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



5年生



6年生



6年生

- ・心臓の音を聞くって素敵な体験ですね。いろいろ思考力が働かされてとっても良い体験だと思いました。
- ・おなかの中にいるときに聞いた心臓の音を思い出しました。ここまで大きな病気や怪我無く成長してくれていることをうれしく思います。
- ・とても楽しみにしていました。聴診器の使い方がわからずゆっくり聞くことができなかったことは残念でしたが、命という大切なことを子どもと一緒に考えることができてとても良い時間でした。
- ・心配していましたが、自分の意見が言えるようになっていて安心しました。今回の授業は正解がなく、難しいと思いましたが、その中で自分の意見を皆さん持っていたのがすごいと思いました。
- ・村人の立場に立って気持ちを考えることができて、自分の意見を言えるようになったことに成長を感じました。人権学習で、できないことも協力することで解決することを学んでよかったと思います。
- ・努力することや協力することの大切さ、人の気持ちを考えられるようになったことに成長を感じました。大人も上記のことなどを振り返る良い機会となりました。1日村になった後に生まれた世代は、陽の光が多いことが当たり前と思うかもしれないということに気づき、いま私たちのある平和で便利な世の中も当たり前ではなく、多くの方の努力や協力があるのだとあらためて感謝しようと思いました。
- ・昔の習わしなどで不思議に思うこともあつたりしますが、自分の思いや意見を伝え話し合うことで良い方向に進むこともあるので、思いを伝えることの大切さを改めて実感しました。また普段のやり取りの中でも、大人の都合や思い込みなどで、子どもの思いや気持ちに寄り添っていたかな、と考える機会にもなりました。ありがとうございました。
- ・積極的に手をあげて意見が言えるクラスの雰囲気の良いを感じました。しきたりについて考えるのは子どもたちには難しかったようです。大人でも昔からそうだったからと従ってしまうことがあると思いますが、声を上げた人たちの思いを受け止めて、自分たちはどうしたいのかを考えることが大切だと感じました。
- ・差別の歴史を調べて、少しでもなくなるようにしていきたいと思います。
- ・名前の意味を考えるいい機会になりました。これからも自分の名前を大事にしてくれたらうれしいです。
- ・名前のお話をゆっくりしたことがなかったので、素敵な時間になりました。
- ・名前の由来を再度夫婦で話しながら生まれた時のことを思い出しました。あれから7年たった。成長したなど改めてうれしく思いました。手紙で笑顔になった息子を見てこちらも笑顔になりました。人権、まずは自分自身の大切さを知ることが基盤になると思うので素敵な取組だと思います。ありがとうございました。

一人一人の大切さ、それを思いやり、協力することの大切さをこれからも学校生活の中で実感できるよう取組を進めていきます。ご協力ありがとうございました。

校長 富田 佳泰